

検 査 課 業 務 概 要

当センター(保健所)における検査業務は、平成 16 年度から「千葉県検査業務運営要領」に基づき中核検査機関に位置づけられ、当センターに加え香取、海匝及び山武健康福祉センターから依頼される検査を実施してきた。

平成 20 年度からは、「千葉県検査業務運営要領」の改定に伴い、組織は「広域検査課」から「検査課」となった。環境衛生検査(飲料水検査等)は廃止され、食品化学検査は衛生研究所へ集約、検査業務の効率化と高度な検査に対応するための検査体制に変わった。平成 21 年度からは新たにノロウイルス検査が導入されている。

また、成田支所の検査業務は、従前からの細菌検査受付に加え、平成 20 年 3 月から開始した HIV の即日検査に対応するために検査課員が出向いている。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた香取健康福祉センターの検査室半壊により海匝健康福祉センター管内で発生した食中毒等検査について応援要請依頼を受け検査を実施した。

1. 臨床検査及び細菌検査

(1) 臨床検査

エイズ対策として HIV 抗体検査を 319 件、性病予防対策としてクラミジア抗体検査 285 件及び梅毒検査 288 件、肝炎対策として、HBs 抗原検査 295 件・HCV 抗体検査 295 件を実施した。

平成 21 年度の肝炎検査の増加は、平成 20 年 1 月 17 日、厚生労働省が、非加熱血液凝固因子製剤を血友病以外の患者に投与した可能性のある医療機関名を再公表したことを受けて検査希望者が増加したことによる。平成 22 年度、23 年度は若干の増減はあるが横ばい状態であった。

原子爆弾被爆者を対象とした健康診断では尿検査を 84 件実施した。

(2) 細菌検査

ア 平常時検査

平常時の感染症対策としての給食施設従事者、食品取扱業者、水道施設従事者等を対象として腸管出血性大腸菌 0157、赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌等の腸内細菌検査を 14,046 件実施した。

イ 感染症発生等に伴う検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、患者、家族・接触者等の菌検索を 12 事案 53 検体実施し、腸管出血性大腸菌 0157 を 1 件、腸管出血性大腸菌 026 を 4 件検出した。

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

食品機動監視班が監視指導を推進するために、管内施設から収去した食品等について 196 検体 977 項目実施した。

(2) 乳類規格試験

食品機動監視班が収去した市販の牛乳等について、規格試験を 7 検体 30 項目実施した。

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査を 60 事案 427 検体 7,910 項目実施し、サルモネラ属菌 22 件、黄色ブドウ球菌 44 件、カンピロバクター 4 件、腸炎ビブリオ 1 件、セレウス菌 18 件、ウェルシュ菌 1 件を検出した。

ノロウイルス検査は 264 件中 118 件が陽性であった。

(4) 精度管理

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理、外部精度管理ともに良好な結果であった。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	印旛 保健所	成田 支所
血 液	梅毒	T P 法	289	292	288	192	96
		S T S 法	289	292	288	192	96
	H I V 抗体		478	345	319	210	109
	クラミジア抗体		427	290	285	189	96
	H C V 抗体		603	306	295	198	97
	H B s 抗原		603	306	295	199	96
尿	糖		101	81	84	84	—
	蛋白		101	81	84	84	—
	ウロビリノーゲン		101	81	84	84	—
	潜血		101	81	84	84	—
喀 痰	結核菌	塗抹鏡検	—	—	—	—	—
		培 養	—	—	—	—	—
便	寄生虫	塗抹鏡検	—	—	—	—	—
		ぎょう虫卵	24	1	5	5	—

(2) 細菌検査

表 1 - (2) - ア 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分			計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成 21 年度			15,116	10,098	3,241	1,142	635
平成 22 年度			14,487	9,661	2,883	1,143	800
平成 23 年度			14,046	9,238	3,096	996	716
印 旛	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌		2,951	2,351	139	326	135
	腸管出血性大腸菌 0157		4,409	2,464	1,505	177	263
	その他の菌(腸炎ビブリオ)		36	—	—	—	36
成 田 支 所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌		2,548	2,032	39	362	115
	腸管出血性大腸菌 0157		4,101	2,391	1,413	131	166
	その他の菌(腸炎ビブリオ)		1	—	—	—	1

表 1 - (2) - イ 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	便			飲料水	食品・吐物	拭き取り
			経過者・患者	接触者・家族	その他			
平成 21 年度		102	30	71	—	1	—	—
平成 22 年度		96	30	65	—	1	—	—
平成 23 年度		53	22	31	—	—	—	—
印 旛	赤痢菌	3	—	3	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	—	—	—	—	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	17	6	11	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	9	6	3	—	—	—	—
	その他の菌	—	—	—	—	—	—	—
成 田 支 所	赤痢菌	8	4	4	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—	—	—
	パラチフス A 菌	—	—	—	—	—	—	—
	コレラ菌	—	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	10	3	7	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	6	3	3	—	—	—	—
	その他の菌	—	—	—	—	—	—	—
検 出 菌 状 況	腸管出血性大腸菌 0157	1	1	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 026	4	4	—	—	—	—	—

2. 食品衛生検査

(1) 食品細菌検査

表 2－(1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		189	224	196	121	75
項 目 数		988	1,220	977	601	376
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	171	212	182	107	75
	大腸菌群の有無	171	212	172	97	75
	大腸菌（E.coli）	8	7	19	19	0
	黄色ブドウ球菌	171	212	182	107	75
	サルモネラ属菌	179	219	186	111	75
	腸炎ビブリオ	12	5	6	5	1
	カンピロバクター	165	203	163	88	75
	腸管出血性大腸菌 0157	93	133	39	39	0
	腸管出血性大腸菌 026	8	7	9	9	0
	腸管出血性大腸菌 0111	—	—	9	9	0
	恒温試験	5	5	5	5	0
	細菌試験	5	5	5	5	0

(2) 乳類規格試験

表 2－(2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	印旛保健所	成田支所
検 体 数		10	7	7	7	—
項 目 数		40	34	30	30	—
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	6	7	7	7	—
	大腸菌群の有無	6	7	7	7	—
	比重	6	5	4	4	—
	酸度	6	5	4	4	—
	無脂乳固形分	6	5	4	4	—
	乳脂肪分	10	5	4	4	—

(3) 食中毒及び苦情食品等の検査

表 2-(3)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食 品	便	吐物	拭き取り	その他
平成 21 年度	検体数	304	3	268	1	32	—
	項目数	5,703	57	5,018	20	608	—
平成 22 年度	検体数	284(6)	16	251(6)	—	16	1
	項目数	5,294(118)	332	4,637(118)	—	304	21
平成 23 年度	検体数	427	32	328	1	66	—
	項目数	7,910	614	6,022	20	1,254	—
実 施 項 目	コレラ菌	402	32	303	1	66	—
	赤痢菌	402	32	303	1	66	—
	チフス菌	402	32	303	1	66	—
	パラチフス A 菌	402	32	303	1	66	—
	腸炎ビブリオ	402	32	303	1	66	—
	NAGビブリオ	402	32	303	1	66	—
	ビブリオ ミミクス	402	32	303	1	66	—
	ビブリオ フルビアリス	402	32	303	1	66	—
	黄色ブドウ球菌	402	32	303	1	66	—
	サルモネラ属菌	404	32	305	1	66	—
	セレウス菌	402	32	303	1	66	—
	ウェルシュ菌	402	32	303	1	66	—
	カンピロバクター	402	32	303	1	66	—
	エルシニア エンテロコリチカ	402	32	303	1	66	—
	エロモナス ヒドロフィラ	402	32	303	1	66	—
	エロモナス ソブリア	402	32	303	1	66	—
	プレジオモナス シゲロイデス	402	32	303	1	66	—
	病原性大腸菌	402	32	303	1	66	—
	腸管出血性大腸菌 0157	402	32	303	1	66	—
	ノロウイルス	264	—	263	1	—	—
	大腸菌群	3	3	—	—	—	—
	大腸菌	—	—	—	—	—	—
	生菌数	3	3	—	—	—	—
検出菌内訳	黄色ブドウ球菌	44	9	34	—	1	—
	サルモネラ属菌	22	3	19	—	—	—
	カンピロバクター	4	—	4	—	—	—
	腸炎ビブリオ	1	—	1	—	—	—
	セレウス菌	18	13	2	—	3	—
	ウェルシュ菌	1	—	1	—	—	—
	ノロウイルス	118	—	118	—	—	—

() は海匝保健所受付分として再掲

表 2－(3)－イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況
(当年度保健所別・再掲)

(単位：件)

項 目		印旛保健所	成田支所
コレラ菌		297	105
赤痢菌		297	105
チフス菌		297	105
パラチフス A 菌		297	105
腸炎ビブリオ		297	105
NAGビブリオ		297	105
ビブリオ ミミクス		297	105
ビブリオ フルビアリス		297	105
黄色ブドウ球菌		297	105
サルモネラ属菌		299	105
セレウス菌		297	105
ウェルシュ菌		297	105
カンピロバクター		297	105
エルシニア エンテロコリチカ		297	105
エロモナス ヒドロフィラ		297	105
エロモナス ソブリア		297	105
プレジオモナス シゲロイデス		297	105
病原性大腸菌		297	105
腸管出血性大腸菌 0157		297	105
ノロウイルス		198	66
大腸菌群		3	—
大腸菌		—	—
生菌数		3	—
合計		5,849	2,061
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	35	9
	サルモネラ属菌	21	1
	カンピロバクター	—	4
	腸炎ビブリオ	—	1
	セレウス菌	17	1
	ウェルシュ菌	—	1
	ノロウイルス	92	26

3. 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表 3- (1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	生菌数	42
繰り返し試験	生菌数	6
陽性対照	腸管出血性大腸菌 O157	6
	腸管出血性大腸菌 O26	2
	腸管出血性大腸菌 O111	2
	黄色ブドウ球菌	19
	サルモネラ属菌	19
	セレウス菌	1
	腸炎ビブリオ	3
	大 腸 菌	21

(2) 外部精度管理

表 3- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
財団法人 食品薬品安全センター	一般細菌数
	大腸菌群
	黄色ブドウ球菌
	サルモネラ属菌
	大腸菌 (E.coli)
千葉県衛生研究所	カンピロバクター
	ノロウイルス